

2023年12月1日

報道関係各位

Green Tokyo 研究会
一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会

環境データを活用した快適なまち歩き WEB サービス 社会実験 再始動 「TOKYO OASIS」

快適性・創造性にあふれるまちへ

まちの中で 5 つのシーン^{だいまるゆう}を想定した過ごし方の提案、共感の見える化

一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会が事務局を担う Green Tokyo 研究会では、「緑」「GIS」「都市気象」「グリーンインフラ」に関連する民間企業や行政間等の連携により、都市環境の総合的な評価システムのプラットフォーム構築を目指しています。

今回、Green Tokyo 研究会では、快適なまち歩きを提案する WEB サービス「TOKYO OASIS」の社会実験を12月1日（金）より大手町・丸の内・有楽町（以下、大丸有）地区にて再始動します。



「TOKYO OASIS」は、「大丸有環境アトラス（大丸有地区の環境情報等をデータベース化し、新たな価値の発信につなげる情報プラットフォーム）」をリアルタイムに可視化・シミュレーションし、“**快適に過ごせる空間（ルート・場所）**”の情報を発信する WEB サービスです。

「TOKYO OASIS」を通じた社会実験は 2020 年夏に開始し、これまでの「快適な日なた・日陰ルート検索」機能に、「座れる場所」や「樹木情報」等の情報、「地上・地下一体となったまち歩きルートの検索」の機能が追加されました。

今回の再始動では、（1）「季節の移ろいを感じたい」「子どもと楽しみたい」「新しいアイデアを得たい」「ベンチでゆっくりしたい」「すべての快適スポットがみたい」といったシーン別の過ごし方を提案、（2）共感の見える化の機能を追加し、一人一人が感性豊かにまち歩きを楽しんでいただきたいと思います。

Green Tokyo 研究会では、「TOKYO OASIS」を通じ“より快適で創造性にあふれるまちづくり”を模索してきました。これからも利用者の声の収集・分析を継続しながら、まちと人をつなげ、新たなまちの魅力や価値の発見を通し、持続可能かつ感性や創造性を刺激するまちづくりを目指していきます。

大丸有地区にて、ぜひアップデートした WEB サービス「TOKYO OASIS」をご活用ください。

追加された新しい機能・情報

■ 1 : シーン別の過ごし方提案

これまで蓄積した“快適に過ごせる場所（OASIS SPOT）”や、頂いた様々なご意見・情報を基に、今回の TOKYO OASIS ではわかりやすく 5 つのシーンを想定し、快適な過ごし方を提案いたします。ぜひ各シーンを楽しみながら新しいまちの魅力を発見してみてください。

【5つのシーン】

・季節の移ろいを感じたい

まちの中で季節を感じられる OASIS SPOT やその時季に見られる花や実、紅葉等の樹木をたくさん通るルート検索ができます。同じ場所でも季節が異なれば違う顔をのぞかせるまちをより深く楽しめます。



・子どもと楽しみたい

「大丸有エリアまち育プロジェクト(*)」と連携し、保育士や保護者の意見をもとに、子どもと一緒に過ごしやすい広場や休憩に便利な座れる場所、電車を眺められる場所等、子どもと快適に楽しむことができる新たな OASIS SPOT を追加しました。子どもとまちを楽しむルート検索ができます。



・新しいアイデアを得たい

大丸有地区にある様々なアートや歴史を感じられる OASIS SPOT を辿り、新しいアイデアを得てみませんか。いつも目に付くものから、こんな所があったのかと思うものまで、様々な場所にあるこれらのスポットを巡るルート検索をすることができます。



・ベンチでゆっくりしたい

大丸有地区内には、約 700 基、総延長約 1.8km の“座れる場所”があります。TOKYO OASIS では各ベンチ等“座れる場所”について、日なた・日陰の情報を載せ展開しており、季節や気分に合わせてゆっくりしたい場所を探すことができます。また、調査に協力いただいた大学生の皆さんの座ってみた感想コメントも閲覧できます。



・すべての快適スポットがみたい

とにかくすべてのルート検索、OASIS SPOT を見てみたい、まずはいろいろ試してみたい、そんな方にお勧めのシーンです。上記すべての情報が表示されます。



■ アップデートされた内容

- シーン別の情報提供・ルート検索機能

(*) 「大丸有まち育プロジェクト」とは、大丸有エリアに多様な人々を受け入れるため、屋外における本質的に快適な空間づくりを目指す活動。「まちが育む、まちを育む」を掲げ、多様なステークホルダーとの情報交換の場を設けたり、現在は子どもや子どもを取り巻く多様な人々に焦点をあてた体験プログラムを提供している。

■ 2 : 共感の見える化機能

ユーザーが感じる快適な場所、お気に入りの場所を共有する、見える化機能を新設しました。ユーザー間で共感を育み、大丸有地区をより深く知ること、感性豊かにまち歩きを楽しんでほしいと考えています。

■ アップデートされた内容

- 共感数の見える化ボタン



<その他の TOKYO OASIS の主な機能>

■日なた/日陰/地上・地下一体/最短のルート検索

人によって「快適性」を感じる要素は多種多様なため、好みに応じて日なた/日陰/地上・地下一体/最短からルートを選択できます。

日陰ボタンをタップすると、時間帯ごとの日陰予測表示もでき、階段ボタンをタップすると、地下マップが表示されますので、ルート検索をする際、その時の天気や気分に合わせてルート選びに活かすことができます。



■樹木情報の表示

「すべての快適スポットが見たい」シーンで TREE モードに切り替えると、樹木一本一本の詳細情報を表示できます。

大丸有地区の“緑の豊かさ”の指標として、樹木の調査を実施しています。樹木情報として、位置、樹種、樹高、幹の太さの他、炭素貯蔵量、CO2 吸収量等をサービス上で見ることができます。



※数値解析協力

炭素貯蔵量、CO2 吸収量の数値解析は、東邦レオ株式会社（Green Tokyo 研究会）開発のシステムにて実施

TOKYO OASIS について

- ✓サイトを開いてすぐ使える
- ✓登録不要・使用料無料
- ✓“OASIS SPOT（快適に過ごせる場所）”の表示
- ✓シーン別のルート検索
（季節を感じる、子どもと楽しむ、新しいアイデアを得る、ベンチでゆっくり、すべての快適スポット）
- ✓任意の2地点間の優先ルート（日なた/日陰/地上・地下一体/最短）の検索
- ✓オススメの“OASIS SPOT”の提案表示
- ✓座れる場所を表示
- ✓一本一本の樹木情報を表示
- ✓対応エリア：大丸有地区周辺
- ✓利用者アンケート実施（利用者ともちをつなぎ、サービス発展やまちづくりにフィードバック）



「TOKYO OASIS」 URL はこちら：<https://tokyooasis.com>

Green Tokyo 研究会とは？

Green Tokyo 研究会は、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 横張教授の発案により、2019年9月に設立された研究会です。NPO 法人や民間企業、オブザーバーとしての行政を含めた幅広いメンバーによる様々な都市緑地の評価ツールやデータベースを集約し、都市緑地の総合的な評価システムのプロトタイプを作成することを目指し推進しています。

【研究会の会員】

- ・東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授 横張 真 [会長]
- ・東京大学 総括プロジェクト機構 特任講師 山崎 嵩拓
- ・筑波大学 システム情報系 教授 村上 暁信
- ・一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）
- ・一般社団法人グリーンインフラ総研
- ・株式会社プレック研究所
- ・気象予報士 根本 美緒
- ・NPO 法人 Green Connection TOKYO
- ・The Davey Tree Expert Company
- ・清水建設株式会社 技術研究所
- ・東邦レオ株式会社
- ・Pacific Spatial Solutions 株式会社
- ・株式会社三菱地所設計
- ・一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツエリア協会） [事務局]

過去の TOKYO OASIS に関するプレスリリース

- ・環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を 7 月 27 日（月）より開始
（2020 年 7 月 22 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis-0727.html>

- ・「みどりをつくる」から「みどりがつくる」時代へ まちの快適ってなんだろう？ アンケートで見えてきたのは「みどりがつながをつくる」
（2021 年 4 月 6 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis210406.html>

- ・環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を 7 月 26 日（月）より再始動
（2021 年 7 月 26 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis210726.html>

- ・環境データを活用した快適なまち歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を 2 月 15 日（水）より再始動
（2023 年 2 月 15 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis230215.html>

【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステナブル・ディベロップメントを通じて、約 120ha のまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会（大丸有まちづくり協議会）

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

サステナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
（リガール）

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

※まちづくり 3 団体 ホームページ URL : <https://tokyo-omy.jp/>

【一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）について】



2007 年設立。エコツェリア協会では、会社でも自宅でもない第 3 の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「経済」「環境」「社会」をテーマに大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区のまちづくりを推進しています。大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、次世代のサステナブルな社会の実現に向けて、未来につながる持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

※エコツェリア協会ホームページ URL : <https://www.ecozzeria.jp/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント本部 11 部 担当 : 内山・田口・高橋
TEL : 070-4303-7327 / 090-7739-1083 FAX : 03-6260-6653 E-mail : tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp